

学校運営協議会記録

第 2 回 学校運営協議会		令和7年 9 月 19 日 金曜日
内 容	1 開会あいさつ 2 出席者紹介及び校長あいさつ 3 学校情報提供(①学力調査結果 ②生徒指導事案 ③教育週間アンケート結果) 4 研修会(①グループ協議 ②全体協議 ③振り返り) 5 情報共有(①各委員から ②今後の学校行事 ③次回の開催) 6 閉会あいさつ	
名前	内 容	
教頭	1 開会あいさつ	
校長	2 出席者紹介(4名の教職員、2名の保護者、2名のアドバイザーが追加出席) ・前回欠席だった2名の委員を紹介 校長あいさつ(プリント配付)	
教頭	3 学校情報提供 ① 学力調査結果について ・市・県・全国の平均正答率と比較して、かなり下回っている→職員で課題を共有し、学力向上プランを策定。実践を行っている。 ② 生徒指導事案について ・いじめ(からかいや悪口)については、1学期に1件発生。→3か月経過するまで観察。今のところ治まっている。 ・長期欠席については、体調不良による1人。登校時は元気に過ごしている。 ③ 教育週間アンケート結果について ・6月の教育週間時の授業参観の際にとったアンケート。全設問で肯定的評価が多かったが、「あいさつ」の項目に課題が見られた。→課題を職員で共有し、児童にあいさつのよさ等について指導を続けていく。	
	4 研修会 ① グループ協議(教職員及び学識経験者、保護者、地域住民でそれぞれグルーピング。KJ法を用いて各々の思いや考えを共有。) 【「どんな子供を育てたいか。育てほしいか」】 ↓ 【「そのために、各々の立場からどのようなことができるか。」】	
	② 全体協議(各々のグループでの協議結果報告。) 願 い:・元気で活発 ・地域とのつながりをもつ ・自分から表現し学ぶ ・みんなと一緒にできる ・一生懸命 ・学力向上 ・挨拶できる ・思いやりをもつ ・自信をもつ ・挑戦や努力ができる ・思考し判断できる など	

学校運営協議会記録

	できること ・地域の情報共有 ・地域と一緒にの行事 ・声掛け（賞賛や注意） ・多様な学びの機会やツール ・実体験をさせる ・交流する ・学力向上のための多様な手立てや授業改善 ・振り返らせる ・チャレンジさせる機会 ・子どもに優しくする ・たくさん会話をする ・口を出しすぎない、否定しない、怒らないで子どもに考えさせる など
校長	③ 振り返り ・学校と地域が連携できそうな学習・活動・行事についてさらに検討する。協力をさらにお願いしたい。
アドバイザーA	・互いの考えの共通点や相違点に気付くことが大事。 ・「快適空間」から「チャレンジ空間」に至るには、安心できることが前提。 ・学校に、地域と家庭や学校が意見を交わせるような交流板等があるとよい。
アドバイザーB	・体験を通してよりよい習慣を身に付けさせる。子供に社会体験をさせる。 ・したくなくてもしなければならぬことはする。したくてもしてはならぬことはしない。
A委員 B委員	5 情報共有 ① 各委員からの連絡、紹介等 ・音楽イベント ・サンセットクルーズ ・出津文化市
教頭	② 今後の学校行事について ・小体会（10月 5・6年参加） ・小音会（11月 全学年参加） ・そとめっ子発表会（12月 7日（日）午前） ③ 次回の開催について ・11月開催・・・詳しい日程は後日お知らせ
会長	6 閉会あいさつ